

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	1	教育総務費	3	教育振興費	210106	上美生地区山村留学推進事業

事務事業名 上美生地区山村留学推進事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・道外からの児童生徒を受け入れることによって、教育環境の整備や複式学級の解消を目指す。 ・上美生地区山村留学推進協議会に対する補助及び指導員の配置 ・児童生徒募集業務、交流事業の開催
2. 対象(何を対象にしているか) 上美生小・中学校
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 複式学級の解消 教育効果の向上

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成7年11月の上美生地区山村留学推進協議会設立を契機として、上美生地区における小学校及び中学校の複式学級の解消を目的に、平成9年度から児童生徒を受け入れている。 ・道外からの児童生徒を受け入れることによって、教育環境の整備や複式学級の解消を目指す。 ・上美生地区山村留学推進協議会に対する補助及び指導員の配置 ・児童生徒募集業務、交流事業の開催 平成28年度から臨時調理員の管理等事務を農林課から学校教育課へ移行。 全国的に山村留学を中止、休止する地域が増えている。 留学生受け入れ数は減少しており、地域の関わり合いの仕組みづくりが必要となっている。情報を広く公開し、地域住民の理解と山村留学への認識を高めていく必要がある。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 山村留学事業推進のため、必要な支援を図る。 山村留学用住宅の適切な管理を行う。 ふるさと交流センターでの山村留学生に係る運営方法の検討。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	259,200	180,000	415,000
		一般財源	円	4,109,915	3,459,056	5,171,000
		事業費計(A)	円	4,369,115	3,639,056	5,586,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0379	0.0379	
人件費計(B)		円	303,899	300,828		
		トータルコスト(A+B)	円	4,673,014	3,939,884	
活動指標	指導員数		人	1	1	
	留学生数		人	5	6	
	交流事業数		件	5	2	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
山村親子留学用住宅貸付収入	円	259,200	180,000	180,000
臨時労働保険個人負担金(教育振興費)	円			235,000
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 山村留学推進事業に要した経費

## 令和2年度山村留学の状況

- ・センター留学 2名(小学生)  
4名(中学生)
- ・親子留学 2名(中学生2名)

上美生地区山村留学推進協議会補助金 748,920円

## ・事業部

- (1)川下り:本年度コロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。
- (2)乗馬体験:本年度コロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。
- (3)町内探検:本年度コロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。
- (4)ホームステイ:令和2年7月18日・19日、25日・26日、10月24日・25日  
受入家庭 1軒  
参加人員 7名(センター留学生6名)
- (5)スキー教室:令和3年1月16日  
実施場所 メムロスキー場  
参加人員 小・中学生、役員・保護者 計36名

## ・募集部

- (1)ホームページ更新
- (2)やまなみだより更新～インターネット上で留学生の生活を発信(週末に更新)
- (3)山村協ブログ更新
- (4)親子留学家族交流会の実施
- (5)その他  
各種取材等への対応

## ・事務局

- (1)月例役員会 11回
- (2)役員会 2回
- (3)体験入学生との面談 3回
- (4)選考委員会 3回
- (5)関係機関訪問 0回

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	1	教育総務費	3	教育振興費	210205	児童生徒支援事業

事務事業名	児童生徒支援事業
-------	----------

## (1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>①児童生徒・教職員・保護者へのカウンセリング、助言・提言、情報収集・提供及び不登校児童生徒に対する支援を行う。</p> <p>②個別の支援が必要な児童生徒に学校生活での支援を行う。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>①児童生徒、教職員、保護者</p> <p>②個別の支援が必要な対象児童</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>①児童生徒の問題行動等の未然防止を図る</p> <p>②個別な支援が必要な児童一人ひとりが、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善しながら自立を図っていく</p>

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な配慮を必要とする児童生徒のため、教育活動指導助手及び支援員を配置する。</li> <li>・小学校免許を持つ臨時教諭を配置し、小学校全学年35人以下学級編制を町費で実施。</li> <li>・学校生活に関する相談窓口として、スクールライフアドバイザーを配置。</li> <li>・不登校児童生徒への支援のため、教育支援センターを開設し、指導員を配置。</li> <li>・発達支援システムと教育とのスムーズな接続と、特別支援教育の相談対応のため、地域コーディネーターを配置。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒が増加しており、その対応には町共通の対応指針がないため、対応のばらつきが見られている。不登校児童生徒の様子も多様化しており、教育支援センターにはオンライン対応など新しい取組も求められている。</li> </ul>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンス等の結果を踏まえ、児童生徒に対する必要な支援体制を確保する。</li> </ul> <p>【解決策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芽室町不登校支援システムを明文化し、増加・多様化する不登校対応の町共通した指針を構築する。教育支援センター・ゆうゆうの民間委託を検討し、多様な支援の実施を図る。</li> </ul>

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円		438,409	1,064,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	6,861,010	3,193,241	3,269,000
		一般財源	円	56,365,970	28,441,161	30,038,000
		事業費計(A)	円	63,226,980	32,072,811	34,371,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2844	0.2944	
人件費計(B)		円	2,280,429	2,337,146		
		トータルコスト(A+B)	円	65,507,409	34,409,957	
活動指標	スクールライフアドバイザー・教育支援センター指導員人数	人	2	2	2	
	教育活動指導助手・支援員人数	人	21	19	17	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
臨職労働保険個人負担金(教育振興費)	円	6,861,010		
教育支援体制整備事業国庫補助金	円		303,000	1,064,000
幼少接続円滑化モデル事業道委託金	円		135,409	
会計年度任用職員労働保険個人負担金(教育振興費)	円		3,193,241	3,269,000
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

児童・生徒の支援のため、以下のとおり専門の職員を配置した。

	職種	区分	内容
1	スクールライフアドバイザー	会計年度任用職員	児童生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言・提言、情報収集・提供を行う。
2	学校適応指導教室指導員	会計年度任用職員	学校適応指導教室「ゆうゆう」にて、登校に支援が必要な児童生徒の指導を行う。
3	臨時教諭	任期付職員	小学校免許を持つ臨時教諭を配置し、小学校全学年35人以下学級編制を町費で実施。
3	教育活動指導助手	会計年度任用職員	普通学級にて、困り感のある児童生徒への指導の補助を行う。
4	学校支援員	会計年度任用職員	特別支援学級在籍で個別の支援が必要な児童生徒への支援を行う。

## 1 スクールライフアドバイザー活動状況

## (1) 学校別相談件数

	芽室小学校	上美生小学校	芽室西小学校	芽室南小学校	芽室中学校	上美生中学校	芽室西中学校	合計
児童生徒	26		9		99	1	3	138
教職員	35	1	15	11	214	39	31	346
保護者	30		22	6	129		23	210
計	91	1	46	17	442	40	57	694

※その他212件(卒業生及び卒業生保護者100件、関係機関等112件)

※参考 令和2年5月1日現在児童生徒数及び教職員数

	芽室小学校	上美生小学校	芽室西小学校	芽室南小学校	芽室中学校	上美生中学校	芽室西中学校	合計
児童生徒	649	36	309	93	446	24	162	1,719
教職員	48	10	30	18	38	14	19	177

## (2) 相談内容別件数(重複あり)

不登校	学校生活	友人関係	自分自身	家族	進路	その他	合計
430	82	16	29	93	523	289	1,462

※学校生活…いじめ、教員との関係など 自分自身…性格、行動、身体 その他…発達相談など

## 2 学校適応指導教室指導員の活動状況

指導員を1名配置し、月曜日～金曜日の午前中、学校適応指導教室にて児童生徒への指導を行った。  
※令和2年度末の在籍児童生徒数15名(小:2 中:13)。

## 3 臨時教諭の活動状況

芽室小学校に2名を配置した。

## 4 教育活動指導助手の活動状況

芽室小学校に3名、芽室西小学校に2名、芽室中学校に2名、芽室西中学校に1名の合計8名を配置した。

## 5 支援員の活動状況

芽室小学校に5名、芽室西小学校に3名、芽室中学校に3名の合計11名を配置した。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	1	教育総務費	3	教育振興費	210206	大学等就学支援事業

事務事業名	大学等就学支援事業
-------	-----------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ①私立高等学校生徒の授業料補助申請の受付・審査・交付 ②大学等奨学金申請の受付・審査・貸付
2. 対象(何を対象にしているか) 経済的理由により支援を必要とする私立高等学校に在学させている世帯の保護者及び大学等の就学者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 義務教育終了後の就学機会の確保及び経済的負担の軽減を図る。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・奨学金貸付については、平成29年度末から新入学生に対し、入学前貸付を開始。また、平成30年度から貸付申請を通年で受け付けることにより、随時貸付可能とした。 ・社会的経済状況から、奨学金の返済が滞って滞納繰り越しになったり、連帯保証人を通じ、返済するケースが出てきた。 ・私立高等学校生徒授業料補助生徒は令和2年度より国の就学支援金の改正により補助対象者で管内の全日制私立高等学校に通う生徒の授業料は無料となったため、管外の私立高等学校に通う生徒の保護者及び通信制の私立高等学校に通う生徒の保護者のみが対象者となった。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・奨学金貸付制度については、奨学生及び連帯保証人に債務を負う責任を十分理解し、適切に利用してもらえるように進めていく。 ・奨学金償還免除制度については、効果的に奨学生に印象付けられるよう周知に努める。 ・私立高等学校生徒授業料補助制度については、国及び北海道の同様の補助制度に連動するよう状況に合わせて実施を続ける。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	16,630,000	15,515,000	14,720,000
		一般財源	円	5,618,000	5,265,000	4,904,000
		事業費計(A)	円	22,248,000	20,780,000	19,624,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1447	0.1206	
人件費計(B)		円	1,160,209	957,547		
		トータルコスト(A+B)	円	23,408,209	21,737,547	
活動指標	私立高等学校授業料補助申請件数	件		47	15	9
	大学等奨学金貸付申請件数	件		31	32	29

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
大学等奨学金貸付金元金収入	円	16,630,000	15,515,000	14,720,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 私立高等学校生徒授業料補助 180,000円

○ 認定者 月額 3,000円以内 12人

※ うち補助金支給対象者(自己負担0円の場合は支給無し) 月額 3,000円以内 5人

	町内生徒数	申請者数	認定者数	不認定者数
帯広大谷高等学校	60	1	1	
帯広北高等学校	12	1		1
白樺学園高等学校	40	5	4	1
江陵高等学校	5			
池上学院帯広キャンパス	8	4	3	1
星槎国際高等学校	13	4	4	
十勝管外	19			
合 計	157	15	12	3

## 2 大学等奨学金の貸付 20,600,000円

○ 令和2年度 通常貸付分

貸付者 23人

・入学金 @300,000円 × 10人 = 3,000,000円

・修学金 @500,000円 × 23人 = 11,500,000円

合計貸付金額 14,500,000円

○ 令和2年度入学前貸付分(令和3年度新入学生分)

貸付者 8人

・入学金 @300,000円 × 7人 = 2,100,000円

・修学金 @500,000円 × 8人 = 4,000,000円

合計貸付金額 6,100,000円

		1年		2年		3年		4年		計	
		通常	年度前	通常	通常	通常	通常	通常	年度前		
大学院	国公立										
	私立										
大学	国公立	4		4	1			9			
	私立	3	1	3		1		7	1		
短期大学	国公立										
	私立		1	1				1	1		
専門学校	国公立	1	2	1				2	2		
	私立	2	4	2				4	4		
その他	国公立										
	私立										
計	国公立	5	2	5	1			11	2		
	私立	5	6	6		1		12	6		

○ 令和2年度末奨学金償還状況

内 容	実 績	備 考
令和2年度償還人数	118人	うち滞納繰越者1名
令和2年度償還予定額	15,595,000	うち繰上償還額 1,560千円
令和2年度償還滞納繰越額	310,000	H28 70千円、H29 80千円、H30 80千円、R1 80千円
令和2年度償還額(現年分)	15,515,000	うち繰上償還額 1,560千円
令和2年度償還免除額	25,000	償還免除者1名
償還未済人数	187人	
償還未済額	140,910,000	

R1末貸付残高 + R2貸付金 + (R2償還金+繰上償還金+免除額) = R2末貸付残高  
 135,850 + 20,600 + (△13,955+△1,560+△25) = 140,910 (千円)  
 ※令和2年度中増減高…5,060(千円) 【H28・29・30・R1・R2滞納繰越390千円含む】

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	1 教育総務費	5 給食センター管理費	210301	学校給食センター施設維持管理事業

事務事業名	学校給食センター施設維持管理事業
-------	------------------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 学校給食業務を円滑・効果的に実施するための施設設備について、適切な維持管理を行う事業。
2. 対象(何を対象にしているか) 学校給食センター施設、機械設備。
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 学校給食業務がスムーズに行えるよう、日常の保守点検を怠りなく実施し、学校給食センターの施設や機械設備のトラブルに迅速に対応する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 現在の学校給食センターは、建設後20年が経過し設備・調理機器については、修繕費が増加傾向にある。安全安心な学校給食を提供するためにも、2015年度に策定した「給食センター施設整備・備品等購入年次計画」に基づき設備・機器の更新、緊急修繕に対応している。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 現在の学校給食センターは建設してから20年が経過しているが、今後も20年程度は使用することを想定されるため、長期的な施設整備・備品等の購入・改修について、計画を見直しながら実施していく。緊急修繕については従来どおり給食提供に支障がでないよう対応していく。 学校給食法で規定する「学校給食衛生管理基準」に基づき、衛生管理の徹底と強化を図りながら施設維持管理を行う。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	5,339,810	22,167,519	15,553,000
		一般財源	円	47,817,721	47,676,526	37,605,000
		事業費計(A)	円	53,157,531	69,844,045	53,158,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.3899	0.5089	
人件費計(B)		円	3,126,393	4,039,353		
		トータルコスト(A+B)	円	56,283,924	73,883,398	
活動指標	施設維持管理費用		円	53,157,531	69,844,045	53,158,000

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
学校給食試食代	円	54,150	1,763	57,000
給食センター職員給食代	円	135,660	127,756	165,000
寄附金管理基金繰入金	円	5,150,000	22,038,000	15,331,000
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 施設管理委託料の内訳

①特別清掃業務	1回/年	568,700 円	(株)かんきょう
②警備業務	年間	183,480 円	セコム(株)
③施設管理業務	年間	3,062,400 円	(株)かんきょう
④消防設備点検業務	2回/年	49,170 円	(株)ヤマト商会
⑤電気工作物保安管理業務	6回/年	348,480 円	(財)北海道電気保安協会
⑥ばいじん量測定業務	2回/年	83,600 円	カンエイ実業(株)帯広営業所
⑦機械設備保守点検業務	年間	1,430,000 円	(株)日本サーモエナー旭川営業所
⑧調理機具保守点検業務	2回/年	160,600 円	日本調理機(株)北海道支店
⑨事業系廃棄物収集運搬業務	年間	301,094 円	(株)かんきょう
⑩貯水槽清掃業務	1回/年	38,500 円	クリーン開発(株)
⑪害虫等生息調査業務	2回/年	66,000 円	(株)かんきょう
合計		6,292,024 円	

## 2 光熱水費の推移(過去5年間)

区 分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
電気料	使用量(kW)	428,508	434,386	404,220	398,613	394,043
	金額	9,813,149	10,479,626	10,871,429	10,231,328	9,360,959
水道料	使用量(m <sup>3</sup> )	10,229	9,941	10,532	10,523	8,954
	金額	4,565,431	4,437,905	4,699,600	4,724,678	4,074,952
ガス	使用量(m <sup>3</sup> )	1,945	1,894	1,784	1,773	1,593
	金額	1,494,667	1,456,488	1,373,555	1,375,236	1,383,437
重油	使用量(ℓ)	98,900	107,600	89,800	87,400	95,700
	金額	6,792,444	9,048,672	9,179,244	8,862,116	8,452,180

## 3 施設維持管理用備品購入

フードスライサー 2台	3,080,000 円
カッターミキサー 1台	2,106,500 円
食缶洗浄機 1台	18,590,000 円
蒸気式攪拌装置付全自動煮炊機 1台	10,010,000 円
合計	33,786,500 円



款	項	目	事業番号	決算書上の事業名		
9	教育費	1	5	給食センター管理費	210304	給食材料購入事業

事務事業名	給食材料購入事業
-------	----------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 給食の実施と衛生管理の他、個別対応を必要とする児童生徒への対応、めむろまるごと給食など地元の農畜産物について理解と関心を深めるための給食業務を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町内小中学校7校の児童生徒数
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスのとれた豊かな食事を提供することにより、健康の増進を図る。また、食に関する指導を効果的に進めるための教材として活用する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・すべての児童生徒が安全かつ楽しく喫食できるよう、食物アレルギー対応を行っているが、対応内容が多岐にわたり複雑化しているため、国の対応指針に沿った対応が必要となっている。 ・学校給食を通じた食育・食農教育の推進を図るため、積極的に芽室産食材を使用している。授業や給食時間に生産者から児童生徒に対し、食材や農業について伝えてもらう機会を取り入れているが、この活動をより多くの生産者に周知協力してもらえる体制づくりが必要となっている。 ・国の第3次食育推進基本計画では「学校給食における地場産物(都道府県内産)を使用する割合」の目標値(品目数ベース)を30%以上と定めており、本町の道内産使用率(品目数)は55.6%である。(北海道は48.8%、十勝は52.1%、いずれも令和元年度)。なお、国は第4次計画(令和3年度開始)では金額ベースに変更が決定。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・安全性を最優先とした給食提供のため、本町のアレルギー対応マニュアルの見直しを検討していく。 ・まるごと給食の際に配布している芽室産食材の資料について、これまで以上に食育・食農を推進するため、内容の充実、配布先、掲載場所を検討していく。 ・地場産物を継続的に使用していくため、身近な生産者や地域とのつながりが必要となっている。 ・給食費保護者負担金について、食育・食農推進の観点から、昨年度と同様、値上げした1食当たり22円分を町費で負担する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円		5,364,672	
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	86,657,930	78,890,310	94,357,000
		一般財源	円	3,784,248	10,981,917	10,674,000
		事業費計(A)	円	90,442,178	95,236,899	105,031,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.4235	0.4215	
人件費計(B)		円	3,395,813	3,345,623		
		トータルコスト(A+B)	円	93,837,991	98,582,522	
活動指標	給食材料代		千円	90,443	95,237	105,031
	年間給食日数		日	192	204	210

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
学校給食費保護者負担金	円	85,428,840	68,397,454	82,820,000
学校給食試食代	円	369,450	13,272	403,000
給食センター職員給食代	円	859,640	823,464	1,057,000
教職員等給食代	円		9,656,120	10,077,000
新型コロナウイルス対応臨時交付金	円		5,364,672	
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 令和2年度学校給食費内訳

学校給食費保護者負担金(小学校232円、中学校282円)  
調定額 69,053,194円 収入済額 68,397,454円

教職員等給食代(小学校254円、中学校304円)  
調定額 9,656,120円 収入額 9,656,120円

学校給食試食代 13,272円(食材代)  
給食センター職員給食代 823,464円(食材代)

※学校給食保護者負担金、教職員等給食代は基準日数に基づく調定(新型コロナウイルス対策費分を除く)

## 2 令和2年度学校給食提供数

小学校 233,665食  
中学校 133,961食  
給食センターでの試食 43食  
小学校での試食 0食  
中学校での試食 0食  
給食センター職員給食代 3,116食

## 3 令和2年度給食材料区分別購入内訳

区分	提供日数	購入金額	備考
牛乳等	204日	17,595,996円	牛乳=200ml
米飯	126日	5,314,740円	週3回
パン	38日	6,152,008円	週1回
麺類	39日	3,752,525円	週1回
副食	204日	61,924,435円	
特別行事食	1日	497,195円	卒業式紅白まんじゅう
合計		95,236,899円	

## 4 令和2年度学校給食食材産地内訳(めむろまるごと給食含む)

品目	総数量(kg)	芽室産		十勝産		道内産		その他	
		数量(kg)	割合	数量(kg)	割合	数量(kg)	割合	数量(kg)	割合
米・麦・小麦粉	35,868	3,295	9.2%	8,177	22.8%	24,396	68.0%		
野菜類	39,850	16,714	41.9%	8,918	22.4%	4,094	10.3%	10,124	25.4%
肉類	8,599	798	9.3%	310	3.6%	7,307	85.0%	184	2.1%
卵・魚・味噌・豆腐類	10,215			6,646	65.0%	321	3.1%	3,248	31.8%
小計	94,532								
牛乳	68,140			68,140	100.0%				
合計	162,672	20,807	12.8%	92,191	56.7%	36,118	22.2%	13,556	8.3%

## 事務事業の成果に関する説明

## 5 「めむろまるごと給食」実施状況

実施月日	メニュー	食数
6月5日	チリコンカンライス、牛乳、野菜コンソメスープ、アスパラとベーコンのサラダ	1,914食
7月10日	ドライカレー、牛乳、切干大根のコールスローサラダ	1,912食
8月21日	コーンチャーハン、牛乳、ごぼうのスープ、十勝めむろ牛肉コロッケ	1,914食
9月18日	ハッシュドビーフライス、牛乳、シャドークイーンのポテトサラダ	1,916食
10月9日	麦入りご飯、牛乳、ワンタンスープ、チンジャオロース、中華ツナサラダ	1,913食
11月6日	牛肉とごぼうのピラフ、牛乳、キャベツとコーンのスープ、長いものポテトフライ、ケチャップ	1,910食
12月11日	麦入りごはん、牛乳、ちゃんこ鍋、豚肉の竜田揚げ	1,908食
2月5日	豚みそ丼、牛乳、呉汁、コーンとツナのサラダ	1,904食
3月5日	ぶたジンギスカン丼、牛乳、じゃがいものみそ汁、カラフルサラダ	1,867食

めむろまるごと給食試食数 10食

## 6 「食の指導」実施数

	指導者	芽小	西小	南小	上小	芽中	西中	上中
授業時間での「食の指導」	栄養教諭	21クラス 各1回	12クラス 各1回	6クラス 各1回	6学年 各1回	13クラス 各1回	5クラス 各1回	3クラス 各1回
給食時間での「食の指導」	栄養教諭			6クラス 各2回				
給食時間での「食農教育」	生産者		12クラス 放送1回		6学年 各1回			

※芽小配属栄養教諭については全給食時間に指導実施。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210110	小学校施設維持管理事業

事務事業名 小学校施設維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 小学校施設等の工事、修繕、備品購入、保守点検等管理委託
2. 対象(何を対象にしているか) ・小学校児童 ・小学校施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 学校の施設管理を行い、必要に応じて工事、修繕、設備保守点検を実施し、教育環境の向上を目指す。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成21年度の芽室小学校地震補強工事の実施により、町内小学校の耐震化率が100%となった。 環境教育や新エネルギービジョン推進のため、平成23年度から太陽光発電パネルの設置に取り組んでいるほか、児童の生活スタイルの変化から、トイレ洋式化を行った。 現状の各学校施設は老朽化が進んでいるため、令和元年度に学校施設等長寿命化計画を策定したことから、学校施設の長寿命化に向けた効率的な工事計画を検討する。 また、多様な児童・生徒が学校で安全に日常生活を過ごせるようバリアフリー化や、コロナ禍において教室以外の場所で換気対策が必要なのか注視していく。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 2021年度は、全小学校の空調設備設置工事を取り進めており、2月末までに普通教室及び特別支援教室及び職員室に空調設備の設置に向けて進行中。また、芽室小学校校舎非常口設置工事や各学校の受電設備の一部改修工事も予定している。 2022年度は芽室小学校のボイラー更新並びに上美生小学校の地下タンク改修等を計画している。 2023年度は上美生小学校の煙突改修工事及び芽室南小学校の受電設備改修を計画している。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	1,382,000	134,722,000	3,098,000
		地方債	円	2,700,000	197,800,000	5,500,000
		その他(使用料等)	円	7,727,426	1,005,108	2,977,000
		一般財源	円	87,978,745	132,469,363	72,602,000
		事業費計(A)	円	99,788,171	465,996,471	84,177,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.1866	0.1866	
人件費計(B)		円	1,496,243	1,481,123		
		トータルコスト(A+B)	円	101,284,414	467,477,594	
活動指標	修繕箇所数		件	105	116	116
	工事箇所数		件	3	4	4

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
学校施設開放事業利用者負担金(小学校管理費)	円	71,100	1,800	72,000
太陽光買電収入(小学校管理費)	円	91,726	73,308	91,000
寄附金管理基金繰入金	円	2,737,000	930,000	1,814,000
芽室小学校学校施設環境改善交付金-R1繰越	円		95,245,000	
芽室小学校校舎トイレ等改修交付金-R1繰越	円		2,378,000	
小学校情報ネットワーク環境整備国庫補助金	円		22,306,000	
芽室小学校体育館等改修事業債-R1繰越	円		156,600,000	
芽室小学校校舎トイレ等改修事業債-R1繰越	円		19,400,000	
小学校情報ネットワーク環境整備事業債	円		21,800,000	
新型コロナウイルス対応臨時交付金	円		14,793,000	
芽室小学校学校施設環境改善交付金	円			3,098,000
芽室小学校東側非常口設置事業債	円			5,500,000
公共施設整備基金繰入金	円	4,827,600		1,000,000
西小・南小冷房設備対応臨時特例交付金-H30繰越	円	1,382,000		
西小・南小パソコン教室空調設備設置事業債-H30繰越	円	2,700,000		

事務事業の成果に関する説明

1 学校環境の整備

・校下の特色ある環境づくりとスケートリンクの整備を進めるため、学校環境整備及びスケートリンク造成費報償と地域PTAの協力、公務補による環境美化整備を図った。 計 1,513,113円

芽室小学校	379,642円
上美生小学校	373,471円
芽室西小学校	380,000円
芽室南小学校	380,000円

2 学校施設の整備

工事費計 401,505,000円

・設備改修

上美生小学校燃料用埋設配管改修工事	4,048,000円
芽室小学校体育館等改修工事(機械設備)	31,636,000円
芽室小学校体育館等改修工事(電気設備)	49,500,000円
芽室小学校体育館等改修工事(建築主体)	234,432,000円
芽室小学校トイレ等改修工事	22,990,000円

・設備新設

芽室小学校情報通信ネットワーク環境整備工事	58,899,000円
-----------------------	-------------

3 学校備品の整備

項目	金額	購入備品
一般備品	3,911,937円	粉末消火器、乗用芝刈機、掃除機、机、椅子、職員用椅子、会議用机、折りたたみ椅子、折りたたみ椅子用台車、プリンター、校長室用応接セット、スクリーン、紙折機、エンジンプロア、扇風機、ブロワー、スタンダードスクリーン、刈り払い機、シュレッダー、印刷機、ノートパソコン、スポーツマット、カーテンセット、サーキュレーター、エアレックスマット、メガボール、バランスボード、フィジオロール、ビックマック、回転脚付き幼児・低学年向けボード、低反発折りたたみベット、吸音スクリーン

※ 扇風機の購入については、予備費を充当し新型コロナウイルス感染症対策を実施したもの 276,500円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
上美生小学校燃料 用埋設配管改修工 事	4,048,000				4,048,000	石崎設備工業(株) R2.6.29~R2.9.7
芽室小学校体育館 等改修工事 (機械設備)	31,636,000	95,245,000	156,600,000		58,641,000	㈱松山工業 R2.4.17~R2.10.20
芽室小学校体育館 等改修工事 (電気工事)	49,500,000					道産商事㈱ R2.4.17~R2.10.20
芽室小学校体育館 等改修工事 (建築主体)	229,350,000					丸富士三浦・千葉共 同企業体 R2.4.17~R2.10.20
芽室小学校トイレ 等改修工事	22,990,000	2,378,000	19,400,000		1,212,000	㈱渡辺建業 R2.4.17~R2.10.20
芽室小学校情報通 信ネットワーク環 境整備工事	58,899,000	22,306,000 新型コロナウイルス 対応臨時交付金 14,793,000	21,800,000		0	相互・道産特定建設 工事共同企業体 R2.7.27~R3.3.26
合 計	396,423,000	134,722,000	197,800,000	0	63,901,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	2	1	210111	小学校管理運営事業

事務事業名 小学校管理運営事業

## (1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員人事、給与、服務規律関係事務</li> <li>・学校経営活動の推進</li> <li>・学校教育関係消耗品、管理経費の支出</li> </ul>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校</li> <li>・教職員</li> <li>・児童</li> </ul>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育指導力の高い教職員を配置すると共に、教職員が安心して職務に専念できる環境を提供し、教育内容の質を高める。</li> <li>・開かれた学校経営の推進を図る。</li> </ul>

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法律に基づく芽室町立学校教職員の服務監督、学校管理や義務教育の充実、学校管理経費の財源確保が課題である。</li> <li>・学校の働き方改革に向けた出退勤システム導入及び留守番電話機能の導入の検討が課題。</li> <li>また、校務支援システムの導入の検討が課題。</li> </ul>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>2020年度から学校の業務量の適切な管理等に関する指針が策定されたことから、学校の働き方改革に向けた具体的な取り組みが必要になるため、各学校の出退勤システムは導入済。</p> <p>2021年度から留守番電話機能の導入に向けて管内の動向を調査し、各学校と設定時間等の協議を取り進める。</p> <p>方向性としては、留守番電話機能の導入は、既に道央管内で取り入れている市町村立学校があるため、情報収集し、校長会議等で協議を行い、本町においても2021年度中の導入に向けて取り組む。</p> <p>また、校務支援システムの導入に向けて管内の動向を調査し、導入に向けて検討を進めていく。</p>

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	568,608	523,150	655,000
		一般財源	円	15,668,108	15,659,337	16,284,000
		事業費計(A)	円	16,236,716	16,182,487	16,939,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.4534	0.4489	
人件費計(B)		円	3,635,565	3,563,108		
		トータルコスト(A+B)	円	19,872,281	19,745,595	
活動指標	消耗品の購入に要した経費		円	8,686,476	8,666,433	8,216,000

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細部名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
臨職労働保険料個人負担金(小学校管理費)	円	562,506	523,150	655,000
私用電話料(小学校管理費)	円	6,102		
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 開かれた学校づくり推進事業

・学校の運営に関して芽室町教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画の促進及び連携強化を図り、もって、学校、保護者及び地域の住民との信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に寄与することを目的として設置される「学校運営協議会」の運営に対し支援を行った。

小学校名	金額	学校運営協議会開催状況	委員出席延人数
芽室小学校	44,357円	2回開催	30人
芽室西小学校	56,000円	4回開催	35人
芽室南小学校	42,744円	2回開催	22人
計	143,101円		

## 2 予備費を充当し新型コロナウイルス感染症対策を実施したもの

項目	金額	購入物品等
消耗品費	302,154 円	各学校にて、コロナ対策消耗品(アルコール、フェイスシールド等)を購入



款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	2	210112	教員住宅管理事業(小)
		1		

事務事業名	教員住宅管理事業(小)
-------	-------------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・学校教職員住宅の維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) ・教職員 ・教職員住宅
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・教職員住宅の管理 ・必要に応じ修繕、工事の実施

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 教職員住宅の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕を行い、長寿命化を図る課題がある。また、空き家の教職員住宅は、特に老朽化が進んでいる状況から入居希望者のニーズ把握も必要。 令和元年度に教員住宅の在り方基本方針を策定したことから、今後の建替え及び集約化等の具体的検討が必要。 また、管理職の教員住宅入居の在り方についても検討が必要。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 2021年度は麻生町教員住宅内部改修工事並びにF14の物置更新工事を計画している。 2022年度は麻生町教員住宅の集約に向けて、F-7からF-9の住宅を解体を予定する。また、上美生教員住宅T-7・T-8の外壁・屋根改修を行う。 2023年度は解体した土地に管理者住宅2軒の新築工事を計画する。 新工町における教員住宅については、全ての教員住宅の解体を想定し、芽室西小学校の管理者住宅については、麻生町の集約化に向け検討を進める。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	2,601,300	2,298,600	6,170,000
		一般財源	円	4,688,573	6,192,719	322,000
		事業費計(A)	円	7,289,873	8,491,319	6,492,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0920	0.0920	
人件費計(B)		円	737,697	730,243		
		トータルコスト(A+B)	円	8,027,570	9,221,562	
活動指標	修繕箇所数		件	11	12	12
	工事箇所数(戸数)		戸	1	2	3

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細部名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
教員住宅(小学校)貸付収入	円	2,601,300	2,298,600	2,170,000
公共施設整備基金繰入金	円			4,000,000
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 教職員住宅の整備

- ・教職員住宅の老朽化に対応し、居住環境の向上を図るため、内装改修等の工事を実施した。  
計7,370,000円
  - 上美生教職員住宅内部改修工事(T-7) 5,148,000円
  - 上美生教職員住宅内部改修工事(S-5) 2,222,000円
  
- ・教職員住宅の老朽化に対応し、居住環境の向上を図るため、12件の修繕を実施した。 923,560円  
(教員住宅(E-1)給湯機取替修繕、上美生教員住宅(S-4)内窓修繕、等)

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
上美生教職員住宅内部改修工事 (T-7)	5,148,000				5,148,000	(有)犬飼建設 R2. 12. 28~R3. 3. 19
上美生教職員住宅内部改修工事 (S-5)	2,222,000				2,222,000	(有)熊谷建設 R2. 12. 21~R3. 2. 19
合計	7,370,000				7,370,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	2	210227	要・準要保護児童就学援助事業(小学校)
		1		

事務事業名 要・準要保護児童就学援助事業(小学校)

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 就学困難な児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の児童は修学旅行費が補助対象)
2. 対象(何を対象にしているか) 就学困難と認められる児童の保護者
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 就学困難な児童の保護者の経済的負担を軽減する

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・就学困難な児童の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の児童は修学旅行費のみ補助対象) ・2018年度新入学児童から、新入学用品費の入学前支給を実施した。(2月末支給) ・2019年度については、要保護児童生徒援助費補助金の新入学用品費の金額が上がったことから、新入学前支給の金額についても増額して支給を行った。 ・2019年度、卒業アルバム費等の支給項目が追加されたことから、小学校6学年のアルバム注文者の児童世帯に、卒業アルバム費の支給を行った。 ・援助が必要な世帯に援助ができるよう、周知に努める。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・法に基づき、適正に支給する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2019年度	2020年度	2021年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	21,000		
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	11,033,381	9,400,508	11,793,000
		事業費計(A)	円	11,054,381	9,400,508	11,793,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1861	0.2044	
人件費計(B)		円	1,492,436	1,622,035		
トータルコスト(A+B)		円	12,546,817	11,022,543		
活動指標	児童数	人	1,130	1,087	1,046	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
要保護児童生徒援助費国庫補助金	円	21,000		
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 就学援助費内訳

項目	人数	金額
学用品費	134人	1,456,669円
通学用品費等	134人	446,462円
新入学学用品費	8人	408,480円
P T A 会費	106件	363,373円
体育実技用具費	37人	436,970円
修学旅行費	29人	449,614円
給食費	133人	5,193,320円
卒業アルバム費	31人	288,200円
計		9,043,088円

## 2 就学援助認定率(年度末)

学校名	児童数	認定者数	認定率
芽室小学校	649人	91人	14.02%
上美生小学校	36人	1人	2.78%
芽室西小学校	309人	38人	12.30%
芽室南小学校	93人	3人	3.23%
計	1,087人	133人	12.24%

## 3 新入学用品費入学前支給

学校名	支給人数	金額
芽室小学校	4人	204,240円
上美生小学校		
芽室西小学校	3人	153,180円
芽室南小学校		
計	7人	357,420円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	2	小学校費	1	学校管理費	210239	教材・教具整備事業(小学校)

事務事業名	教材・教具整備事業(小学校)
-------	----------------

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

小学校4校の教育課程に係る備品、消耗品及び図書等の購入・整備を行う。

## 2. 対象(何を対象にしているか)

小学校4校の児童と教職員

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

授業の実施状況に合わせた教材・教具を整備することにより、効率的・効果的な授業の実施等、学校教育の充実を図る。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

・町内小学校の授業等で必要な教材・教具及び学校図書の購入・維持管理。  
 ・2019年度より、校務用・教育用コンピューター等の計画更新を行っている。  
 ・2020年度より、ICT整備・活用指針に基づき、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を行っている。

## 【課題】

・GIGAスクール構想の運用に向けたハード面の整備を引き続き行うとともに、ソフト面についても検討が必要である。  
 ・ネットワーク環境がない家庭への対応。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

・以下のスケジュールで校務用パソコン、パソコン教室用(中学校のみ)パソコン及び周辺機器等の更新を進める。(備荒資金の利用を予定)

2021年度 小学校4校

2022年度 上美生中学校

・鍵盤ハーモニカ購入費助成について、来年度以降は対象者を就学援助対象者に限定する方向で各学校と協議を行う。

## 【解決策】

・全小中学校に大型提示装置を導入する。(3ヶ年計画、2021年度は新型コロナウイルス対策学校教育事業でR2繰越予算として計上。)

・小中学校全学年に端末で使用するAIDリルを導入する。

・学校における端末の使用や持ち帰り等について、教員で構成する検討チームを設置し、ルールの設定等検討を行う。

・ネットワーク環境がない家庭への対応について、管内状況を調査し、対応策を検討する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円		2,125,612	332,000
		一般財源	円	18,199,569	15,555,899	28,908,000
		事業費計(A)	円	18,199,569	17,681,511	29,240,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2467	0.2548	
人件費計(B)		円	1,977,863	2,022,659		
トータルコスト(A+B)		円	20,177,432	19,704,170		
活動指標	購入額	円	18,199,569	17,681,511	29,240,000	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
寄附金管理基金繰入金	円		1,820,000	
会計年度任用職員労働保険個人負担金(小学校管理費)	円		305,612	332,000
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 主な施策の成果

- (1) 鍵盤ハーモニカ購入費助成金 266,400 円  
 小学1年生を対象に購入費の助成  
 1,800 円 × 138 人 = 248,400 円 … 全世帯対象分  
 1,800 円 × 10 人 = 18,000 円 … 要保護・準要保護世帯加算分

- (2) 教材消耗品・備品の整備 6,138,272 円

項目	金額	購入物品
教育課程教材消耗品	2,177,281 円	ソフトボール、ラミネートフィルム、フェルトほか
教育課程教材備品	2,842,291 円	プロジェクター、書画カメラ、カラーマットほか
吹奏楽楽器備品	1,118,700 円	ホルン、チューバ

- (3) 学校図書館の状況

学校名	R1年度末冊数 A	購入・寄贈 B	廃棄 C	R2年度末冊数 D=A+B-C	図書標準達成率 D/E	図書標準冊数 E
芽室小学校	13,555	245	139	13,661	107.1%	12,760
上美生小学校	6,004	137	0	6,141	120.9%	5,080
芽室西小学校	10,893	148	0	11,041	106.6%	10,360
芽室南小学校	8,180	87	183	8,084	115.5%	7,000
合計	38,632	617	322	38,927	110.6%	35,200

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	3 中学校費	1 学校管理費	210120 中学校施設維持管理事業

事務事業名 中学校施設維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)  
中学校施設等の工事、修繕、備品購入、保守点検等管理委託

## 2. 対象(何を対象にしているか)

・中学校生徒  
・中学校施設

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

学校の施設管理を行い、必要に応じて修繕、工事、設備保守点検を実施し、教育環境の向上を目指す。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

平成18年度の芽室中学校地震補強工事の実施により、町内中学校の耐震化率が100%となった。  
環境教育や新エネルギービジョン推進のため、平成21年度から太陽光発電パネルの設置に取り組んでいるほか、生徒の生活スタイルの変化から、トイレ洋式化を行った。  
現状の各学校施設は老朽化が進んでいるため、令和元年度に学校施設等長寿命化計画を策定したことから、学校施設の長寿命化に向けた効率的な工事計画を検討する。  
また、多様な児童・生徒が学校で安全に日常生活を過ごせるようバリアフリー化や、コロナ禍において教室以外の場所で換気対策が必要なのか注視していく。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

2021年度は、全中学校の空調設備設置工事を取り進めており、2月末までに普通教室及び特別支援教室及び職員室に空調設備の設置に向けて進行中。また、芽室西中学校校舎外壁・体育館改修工事も予定している。  
2022年度は芽室西中学校校舎・体育館内部改修工事及び芽室中学校煙突改修工事をを予定している。  
2023年度は上美生中学校の受電設備改修を計画している。  
また、施設設備以外にも教職員の働き方改革に向けて校務支援システムの導入に向けて管内の動向を調査し、導入に向けて検討を進めていく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2019年度	2020年度	2021年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円	12,420,000	26,201,000	
		地方債	円	53,000,000	13,900,000	
		その他(使用料等)	円	14,641,375	11,529,340	1,851,000
		一般財源	円	75,395,095	51,351,002	54,941,000
		事業費計(A)	円	155,456,470	102,981,342	56,792,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.1567	0.1567	
人件費計(B)		円	1,256,491	1,243,794		
トータルコスト(A+B)		円	156,712,961	104,225,136		
活動指標	修繕箇所数	件	66	56	56	
	工事箇所数	件	3	2	1	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
学校施設開放事業利用者負担金(中学校管理費)	円	168,750	4,500	170,000
太陽光買電収入(中学校管理費)	円	30,768	24,840	7,000
寄附金管理基金繰入金	円	7,446,000	500,000	1,674,000
公共施設整備基金繰入金	円	6,200,000	11,000,000	
上美生中冷房設備対応臨時交付金-H30繰越	円	754,000		
芽室中学校学校施設環境改善交付金	円	11,666,000		
市町村振興協会地域振興助成金	円	746,000		
芽室中学校外付エレベーター設置事業債	円	51,600,000		
上美生中パソコン教室空調設備設置事業債-H30繰越	円	1,400,000		
電気使用料(中学校管理費)	円	49,857		
新型コロナウイルス対応臨時交付金	円		11,996,000	
中学校情報通信ネットワーク環境整備国庫補助金	円		14,205,000	
中学校情報通信ネットワーク環境整備事業債	円		13,900,000	



## 事務事業の成果に関する説明

## 1 学校環境の整備

・校下の特色ある環境づくりとスケートリンクの整備を進めるため、学校環境整備及びスケートリンク造成費報償と地域PTAの協力、公務補による環境美化整備を図った。 計 795,670円

芽室中学校	360,000円
上美生中学校	135,670円
芽室西中学校	300,000円

工事費計 51,706,000円

## 2 学校施設の整備

## ・設備改修

上美生中学校ボイラー更新工事 11,605,000円

## ・設備新設

芽室中学校情報通信ネットワーク環境整備工事 40,101,000円

## 3 学校備品の整備

項目	金額	購入備品
一般備品	2,949,842円	園芸用スプリットエンジン・ポールソーアタッチメント、職員用椅子、裁断機、生垣バリカン、美術机、美術室椅子、スタッキング椅子、スタッキング椅子専用台車、シュレッダー、丁合機、丁合機用台、充電用クリーナー、身長計、折りたたみ式会議テーブル、紙折機、扇風機、グラウンドレーキマット、車椅子、固定式教卓、生徒用机・椅子、ノートパソコン、低反発折りたたみベット、粉末消火器、草焼きバーナー、急速充電器掃除機 他

※ 扇風機の購入については、予備費を充当し新型コロナウイルス感染症対策を実施したもの 142,200円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
上美生中学校ボイラー更新工事	11,605,000			11,000,000	605,000	榊宮間工業 R2.6.22~R2.9.18
芽室中学校情報通信ネットワーク環境整備工事	40,101,000	14,205,000 新型コロナウイルス 対応臨時交付金 11,996,000	13,900,000		0	相互・道産特定建設 工事共同企業体 R2.7.27~R3.3.26
合計	51,706,000	26,201,000	13,900,000	11,000,000	605,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210121	中学校管理運営事業

事務事業名 中学校管理運営事業

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・教職員人事、給与、服務規律関係事務 ・学校経営活動の推進 ・学校教育関係消耗品、管理経費の支出
2. 対象(何を対象にしているか) ・中学校 ・教職員 ・生徒
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・教育指導力の高い教職員を配置すると共に、教職員が安心して職務に専念できる環境を提供し、教育内容の質を高める。 ・開かれた学校経営の推進を図る。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・法律に基づく芽室町立学校教職員の服務監督、学校管理や義務教育の充実、学校管理経費の財源確保が課題である。 ・学校の働き方改革に向けた出退勤システム導入及び留守番電話機能の導入の検討が課題。 また、校務支援システムの導入の検討が課題。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 2020年度から学校の業務量の適切な管理等に関する指針が策定されたことから、学校の働き方改革に向けた具体的な取り組みが必要になるため、各学校の出退勤システムは導入済。 2021年度から留守番電話機能の導入に向けて管内の動向を調査し、各学校と設定時間等の協議を取り進める。 方向性としては、留守番電話機能の導入は、既に道央管内で取り入れている市町村立学校があるため、情報収集し、校長会議等で協議を行い、本町においても2021年度中の導入に向けて取り組む。 また、校務支援システムの導入に向けて管内の動向を調査し、導入に向けて検討を進めていく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	526,792	540,743	667,000
		一般財源	円	13,451,082	14,638,593	15,040,000
		事業費計(A)	円	13,977,874	15,179,336	15,707,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.3911	0.3881	
人件費計(B)		円	3,136,015	3,080,513		
		トータルコスト(A+B)	円	17,113,889	18,259,849	
活動指標	消耗品の購入に要した経費		円	7,219,712	8,187,406	7,493,000

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
私用電話料(中学校管理費)	円	18,020	10,110	12,000
臨職労働保険個人負担金(中学校管理費)	円	508,772	530,633	655,000
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 開かれた学校づくり推進事業

・学校の運営に関して芽室町教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画の促進及び連携強化を図り、もって、学校、保護者及び地域の住民との信頼関係を深め、学校運営の改善及び児童生徒の健全育成に寄与することを目的として設置される「学校運営協議会」の運営に対し支援を行った。

学校運営協議会名	金額	学校運営協議会開催状況	委員出席延人数
芽室中学校	63,548円	3回開催	38人
芽室西中学校	67,864円	4回開催	39人
上美生小中学校	35,606円	2回開催	21人
計	167,018円		

## 2 予備費を充当し新型コロナウイルス感染症対策を実施したもの

項目	金額	購入物品等
消耗品費	656,401 円	各学校にて、コロナ対策消耗品(アルコール、フェイスシールド等)を購入

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210122	教員住宅管理事業(中)

事務事業名	教員住宅管理事業(中)
-------	-------------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・学校教職員住宅の維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) ・教職員 ・教職員住宅
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・教職員住宅の管理 ・必要に応じ修繕、工事の実施

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 教職員住宅の老朽化が進んでいることから、計画的な修繕を行い、長寿命化を図る課題がある。また、空き家の教職員住宅は、特に老朽化が進んでいる状況から入居希望者のニーズ把握も必要。 令和元年度に教員住宅の在り方基本方針を策定したことから、今後の建替え及び集約化等の具体的検討が必要。 また、管理職の教員住宅入居の在り方についても検討が必要。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 2021年度は麻生町教員住宅内部改修工事並びにF14の物置更新工事を計画している。 2022年度は麻生町教員住宅の集約に向けて、F-7からF-9の住宅を解体を予定する。また、上美生教員住宅T-7・T-8の外壁・屋根改修を行う。 2023年度は解体した土地に管理者住宅2軒の新築工事を計画する。 新工町における教員住宅については、全ての教員住宅の解体を想定し、芽室西小学校の管理者住宅については、麻生町の集約化に向け検討を進める。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	1,785,200	1,717,600	6,544,000
		一般財源	円	2,455,920	△ 903,198	386,000
		事業費計(A)	円	4,241,120	814,402	6,930,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0943	0.0943	
人件費計(B)		円	756,140	748,499		
		トータルコスト(A+B)	円	4,997,260	1,562,901	
活動指標	修繕箇所数		件	9	8	8
	工事箇所数(戸数)		戸	1		1

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
教員住宅(中学校)貸付収入	円	1,785,200	1,717,600	1,544,000
公共施設整備基金繰入金	円			5,000,000
	円			
	円			
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

1 教職員住宅の整備

- ・教職員住宅の老朽化に対応し、居住環境の向上を図るため、8件の修繕を実施した。 796,675円  
(上美生教員住宅給湯機取替修繕(S-9)、上美生管理者住宅トイレ修繕、等)

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210228	要・準要保護生徒就学援助事業(中学校)

事務事業名 要・準要保護生徒就学援助事業(中学校)

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象)
2. 対象(何を対象にしているか) 就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象)
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 就学困難な生徒の保護者の経済的負担を軽減する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・就学困難な生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部補助を行う。(要保護世帯の生徒は修学旅行費が補助対象) ・2018年度新入学生徒から、新入学用品費の入学前支給を実施した。(2月末支給) ・2019年度については、要保護児童生徒援助費補助金の新入学用品費の金額が上がったことから、新入学前支給の金額についても増額して支給を行った。 ・援助が必要な世帯に援助ができるよう、周知に努める。 ・2019年度、卒業アルバム費等の支給項目が追加されたことから、中学校第3学年のアルバム注文者の生徒世帯に、卒業アルバム費の支給を行った。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・法に基づき、適正に支給する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			70,000
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円			
		一般財源	円	13,883,373	12,188,146	14,528,000
		事業費計(A)	円	13,883,373	12,188,146	14,598,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.1829	0.2015	
人件費計(B)		円	1,466,570	1,599,770		
		トータルコスト(A+B)	円	15,349,943	13,787,916	
活動指標	生徒数		人	621	632	626

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
要保護児童生徒援助費国庫補助金	円			70,000
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 就学援助費内訳

項目	人数	金額
学用品費	100人	2,161,222円
通学用品費等	100人	378,703円
新入学学用品費	3人	180,000円
P T A 会費	93件	258,500円
生徒会費	98人	61,212円
部活動費	64人	762,964円
体育実技用具費	25人	295,250円
修学旅行費	37人	1,270,813円
卒業アルバム費	38人	334,400円
給食費	98人	4,625,082円
計		10,328,146円

## 2 就学援助認定率(年度末)

学校名	生徒数	認定者数	認定率
芽室中学校	446人	60人	13.45%
上美生中学校	24人	5人	20.83%
芽室西中学校	162人	34人	20.99%
計	632人	99人	15.66%

## 3 新入学用品費入学前支給

学校名	支給人数	金額
芽室中学校	23人	1,380,000円
上美生中学校		
芽室西中学校	8人	480,000円
計	31人	1,860,000円



款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	3	中学校費	1	学校管理費	210242	教材・教具整備事業(中学校)

事務事業名	教材・教具整備事業(中学校)
-------	----------------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 中学校3校の教育課程に係る備品、消耗品及び図書等の購入・整備を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 中学校3校の生徒と教職員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 授業の実施状況に合わせた教材・教具を整備することにより、効率的な授業の実施等、学校教育の充実を図る。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・町内中学校の授業等で必要な教材・教具及び学校図書の購入・維持管理。 ・2019年度より、校務用・教育用コンピューター等の計画更新を行っている。 ・2020年度より、ICT整備・活用指針に基づき、GIGAスクール構想の実現に向けた環境整備を行っている。 【課題】 ・GIGAスクール構想の運用に向けたハード面の整備を引き続き行うとともに、ソフト面についても検討が必要である。 ・新学習指導要領に「プログラミング教育」が盛り込まれたことから、対応できる教材の準備が必要である。 ・ネットワーク環境がない家庭への対応。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) ・以下のスケジュールで校務用パソコン、パソコン教室用(中学校のみ)パソコン及び周辺機器等の更新を進める。(備荒資金の利用を予定) 2021年度 小学校4校 2022年度 上美生中学校 【解決策】 ・全小中学校に大型提示装置を導入する。(3ヶ年計画、2021年度は新型コロナウイルス対策学校教育事業でR2繰越予算として計上。) ・小中学校全学年に端末で使用するAIDリルを導入する。 ・中学校全学年にプログラミング学習教材を導入する。 ・学校おける端末の使用や持ち帰り等について、教員で構成する検討チームを設置し、ルールの設定等検討を行う。 ・ネットワーク環境がない家庭への対応について、管内状況を調査し、対応策を検討する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円		989,121	
		一般財源	円	12,769,228	19,952,552	33,597,000
		事業費計(A)	円	12,769,228	20,941,673	33,597,000
	人件費	正職員従事人数	人	3	3	3
		人工数(業務量)	人工	0.2269	0.3311	
人件費計(B)		円	1,819,075	2,628,080		
		トータルコスト(A+B)	円	14,588,303	23,569,753	
活動指標	購入額		円	12,769,228	20,941,673	33,597,000

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
寄附金管理基金繰入金	円		500,000	
会計年度任用職員労働保険個人負担金(中学校管理費)	円		132,521	
教科書採択協議会運営費負担金	円		356,600	
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 主な施策の成果

(1) 情報教育推進のためのパソコン設置 6,573,901 円

- ・令和元年度 更新導入  
～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和5年度までの5年払い 6,558,502 円  
芽室西中学校 パソコン 70台 プリンタ 10台
- ・令和2年度 更新導入  
～北海道市町村備荒資金組合を利用し、令和6年度までの5年払い 15,399 円  
芽室中学校 パソコン 82台 プリンタ 12台

(2) 教材消耗品・備品の整備 4,396,536 円

項目	金額	購入物品
教育課程教材消耗品	1,742,057 円	絵具、なわとび、メスシリンダーほか
教育課程教材備品	1,866,329 円	プロジェクター、実物投影機、デジタルカメラほか
吹奏楽備品	788,150 円	ホルン、ソリスト・シロフォン、ソプラニーノ・リコーダー

(3) 学校図書館の状況

学校名	R1年度末冊数 A	購入・寄贈 B	廃棄 C	R2年度末冊数 D=A+B-C	図書標準達成率 D/E	図書標準 冊数
芽室中学校	16,016	301	858	15,459	97.6%	15,840
上美生中学校	6,770	126	127	6,769	100.7%	6,720
芽室西中学校	11,025	231	96	11,160	123.5%	9,040
合計	33,811	658	1,081	33,388	105.7%	31,600

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	1	社会教育総務費	220103	少年教育活動運営事業

事務事業名	少年教育活動運営事業
-------	------------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマゲラの村キッズキャンプ」、ジュニアリーダーコース道東派遣、フレンドリーコンサート、子どもわんぱくキャンプ、メモオロ太鼓保存会子どもの部活動報償、寺子屋めむろ夏・冬、通学合宿、地域学校協働活動、奈井江町児童生徒との標語作品交流
2. 対象(何を対象にしているか) 芽室町内在住の児童・生徒
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・異なる年齢や地域間の交流を通じてリーダーを育成する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 様々な体験活動をとおして、子どもたちの豊かで健やかな心を育む。集団生活をとおして形成される協調性や自然体験の中での経験が、子どもたちの発達段階ごとの成長に影響を持つと考えられることから、その重要性が求められる。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、予定していた事業で中止となったものもある。地域学校協働活動・芽室ジモト大学については、活動を進めていくことと並行して、周知活動についても積極的に行っていく。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 地域学校協働活動については、統括的役割のCSコーディネーターを配置し、関係機関との調整を行いつつ、地域側からの働きかけを拡大するなど、より活発に機能するよう推進していく。芽室ジモト大学については、事務局として企画立案等に携わる高校生(チームスタッフ)と一緒に芽室ジモト大学の活動について実施するプログラムの内容を考えていく。並行して、次世代の人材育成、郷土愛の醸成及び地域コミュニティの活性化を目的として、関係課および地域の協力者との連携をとり、プログラム開始に向けて準備を進める。その他の事業についても、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら実施について検討していく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	467,000		
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	442,210	378,715	1,007,000
		一般財源	円	1,712,983	4,169,384	7,162,000
		事業費計(A)	円	2,622,193	4,548,099	8,169,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.5262	0.6722	
人件費計(B)		円	4,219,308	5,335,534		
		トータルコスト(A+B)	円	6,841,501	9,883,633	
活動指標	事業数		回	10	5	11

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
社会教育受講料・個人負担金	円	442,210		604,000
会計年度任用職員労働保険個人負担金(社会教育総務費)	円		378,715	403,000
地域学校協働活動推進事業・道補助金	円	467,000		
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

1. フレンドリーコンサート 126,400円  
1月30日開催 入場者数 106人  
出演者: 芽室小、芽室西小、芽室西中、芽室高、白樺学園高吹奏楽部員94名 + 顧問12名  
※2020年度は、芽室中学校の出演は無し。また、合同演奏会を中止としたことから、一般演奏者の参加は無し。
2. メムオロ太鼓保存会 10,000円  
郷土芸能メムオロ太鼓保存会の活動を支援  
少年の部会員数: 7人
3. 地域学校協働活動 115,064円  
地域学校協働本部会議  
6月29日 第1回本部会議開催

学校支援ボランティア活動回数: 51回/年(のべ206時間)、

	ボランティア活動回数	ボランティア参加者数	ボランティア活動時間
芽室小学校	11 回	42 人	48 時間
上美生小学校	2 回	13 人	10.5 時間
芽室西小学校	13 回	36 人	53 時間
芽室南小学校	5 回	12 人	23 時間
芽室中学校	4 回	17 人	20.5 時間
上美生中学校	2 回	10 人	7.5 時間
芽室西中学校	13 回	26 人	37.5 時間
その他	1 回	6 人	6 時間

地域学習等講師派遣

- 10月14日 地域学習の講師派遣(芽室中学校)  
3月17日 SDGs学習の地域講師派遣(芽室中学校)

4. 芽室ジモト大学 25,000円  
7月9日 先進地視察(浦幌町: うらほろスタイル)  
11月19日 講師(浦崎太郎大正大学教授)との意見交換  
2月20日 ジモト大学意見交換 参加者数 4名
  5. 奈井江町児童生徒との標語作品交流  
芽室町・奈井江町児童生徒標語作品の双方での展示  
芽室町での作品展示: 1月8日~31日
  6. 地域おこし協力隊員の配置 3,965,044円  
人数: 1名  
業務内容: 芽室ジモト大学事業の企画立案、地域学校協働活動におけるCSコーディネーター業務
- ※2020年度新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となった事業
- ・少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)
  - ・西部十勝野外活動体験研修事業「クマガラの村キッズキャンプ」
  - ・子どもわんぱくキャンプ
  - ・寺子屋めむろ夏・冬

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	4	220202	公民館施設維持管理事業
		2		

事務事業名	公民館施設維持管理事業
-------	-------------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要)  
住民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う。

## 2. 対象(何を対象にしているか)

町民

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

町民の生涯学習に対する要望に応えるべく、施設を維持管理する。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

町民の学習拠点の一つとして継続して利用されており、平成25年度の改修工事により快適な環境が整っている。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

改修工事を行っていない部分については徐々に劣化が進んでおり、計画的な修繕を検討する必要がある。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	5,614,190	2,213,026	6,671,000
		一般財源	円	42,795,501	49,208,980	45,329,000
		事業費計(A)	円	48,409,691	51,422,006	52,000,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.1695	0.1660	
人件費計(B)		円	1,359,127	1,317,612		
		トータルコスト(A+B)	円	49,768,818	52,739,618	
活動指標	開館日数		日	352	315	

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
公民館使用料	円	2,271,052	1,681,777	2,335,000
公民館自動販売機等使用料	円	106,228	110,199	102,000
公民館講座受講料	円	242,300	420,500	262,000
私用電話料	円	1,610	550	1,000
寄附金管理基金繰入金	円	2,993,000		971,000
公共施設整備基金繰入金	円			3,000,000
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1 芽室町中央公民館の維持管理及び運営

## (1) 指定管理の状況

- ①5カ年(令和2年4月1日～令和7年3月31日)の基本協定書に基づき管理業務を委託
- ②令和2年度指定管理者年度協定書の締結(年額委託料45,954,000円)

## (2) 指定管理事業者による中央公民館の維持管理

- ①受付、警備業務
- ②日常清掃及び特別清掃業務
- ③エレベーター保守点検、電気保守点検、ボイラー保守点検、大ホール舞台吊り物設備保守点検等の実施

## (3) 指定管理事業者による中央公民館の運営

## ①公民館講座の開設

大人向け講座・・・企画29講座 実施29講座(うち2講座(7回)コロナの影響で中止を含む)  
(実参加者数266人 延べ参加者数799人)

ナチュラルパッチワークキルト、めむろ書道アカデミー、簡単リンパケア、ギター、防災メニュー、ドイツ語等  
児童・生徒向け講座・・・企画9講座 実施9講座(実参加者数146人、延べ参加者数203人)  
篆刻、リトミック、スノードーム作り、ペン立て作り 等

## ②その他の事業

- ・管内他施設で実施されるコンサートのチケット販売
- ・利用者アンケートの実施
- ・指定管理者自主企画(スタインウェイ演奏体験会、こどもアート体感事業発表会、立川談吉「芽室客席」等)の実施

## (4) 利用状況

区分	利用延件数	利用延人数	延べ日数
展示ホール	160	4,121	130
大ホール	155	6,402	121
リハーサル室	454	3,660	244
講堂	205	7,922	163
研修室	334	4,992	229
図書資料室	316	4,163	226
二階和室	167	2,914	134
美術工芸室	222	1,228	148
三階和室	181	1,470	131
視聴覚室	172	1,922	119
調理実習室	125	1,689	100
合計	2,491	40,483	

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用延件数	2,913	3,012	3,090	3,040	3,011	2,491
利用延人数	91,883	81,323	84,908	77,037	75,786	40,483

## (5) その他(主な指定管理外経費)

## ①需用費

- ・大ホール3点吊りマイク修繕 495,000円
- ・屋内消火栓ホース修繕 211,200円
- ・給湯用循環ポンプ取替修繕 159,500円

## ②備品購入費

- ・大ホール平台 715,000円
- ・大ホール照明等設備 2,310,000円
- ・研修室用机 742,500円
- ・大ホールプロジェクター 148,500円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	3	図書館費	220301	図書館維持管理事業

事務事業名 図書館維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

施設、建物、敷地内の維持管理  
各種統計業務、利用の管理

## 2. 対象(何を対象にしているか)

建物、敷地内施設、図書館利用者、町民

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

利用環境の快適さ及び利用者数を増やす

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

町民、地域の人々が行きかい、集う施設として心地よく利用されている。  
資料の利用だけでなく、喫茶コーナー、催事、展示などの複合的な活用もされている。  
通信技術の進展などに伴う新たなニーズにも的確に対応し、快適な利用環境のため円滑、丁寧に施設を管理していく。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

令和3年度は図書館システム更新、電気設備の改修を行い安定した利用環境の維持を図っていく。  
町民、利用者のニーズを適宜くみ取りながら計画的・平準的に維持管理を行っていく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円		37,400,000	
		その他(使用料等)	円	27,691	16,651	3,116,000
		一般財源	円	11,468,602	14,330,447	12,331,000
		事業費計(A)	円	11,496,293	51,747,098	15,447,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.5287	0.5820	
人件費計(B)		円	4,239,354	4,619,578		
		トータルコスト(A+B)	円	15,735,647	56,366,676	
活動指標	図書館維持管理費		円	11,496,293	51,747,098	15,447,000
	図書館と敷地内施設		施設数	2	2	2

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細部名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
図書館喫茶コーナー使用料	円	11,151	11,171	111,000
図書館資料複写代	円	15,220	4,650	4,000
私用電話料(図書館)	円	1,320	830	1,000
図書館長寿命化改修事業債	円		37,400,000	
公共施設整備基金繰入金	円			3,000,000
	円			
	円			

事務事業の成果に関する説明

■令和2年度利用者数

資料貸出者数 29,256人

行事利用者数 2,764人

合計 32,020人

■令和2年度工事請負費

①芽室町図書館長寿命化改修工事

工期 令和2年7月22日～11月30日

工事概要 外壁改修 建具改修 変圧器取替

②芽室町図書館電話回線変更工事

工期 令和2年11月20日～令和3年1月18日

工事概要 電話回線の変更(役場内線廃止 外線設置)



建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
芽室町図書館長 寿命化改修工事 <small>外壁改修 建具改修 変圧器取替</small>	41,580,000		37,400,000		4,180,000	宮坂・北土・鍵谷特定建設 共同企業体 R2.7.22~R2.11.30
芽室町図書館電話 回線変更工事 <small>電話回線変更</small>	44,880				44,880	北原通信㈱ R2.11.20~R3.1.18
図書館空調設備 設置工事 <small>空調機6台換気扇2台設置</small>	7,315,000	7,315,000				道産商事㈱ R3.1.6~R3.3.26
合計	48,939,880	7,315,000	37,400,000		4,224,880	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	3	図書館費	220302	図書・視聴覚資料の貸出・保存事業

事務事業名	図書・視聴覚資料の貸出・保存事業
-------	------------------

(1) 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>利用者への資料提供(閲覧・貸出) 資料の取得・管理・保存 延滞者への返却督促 蔵書点検</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>図書館利用登録者、資料、町民</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>適切に資料を管理し、利用者へ提供する</p>

(2) 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>出版不況など図書や活字を巡る環境の悪化。</p>
<p>2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)</p> <p>若年層への読書推進取組。 潜在利用者の掘り起こし。 情報発信機能の強化。</p>

(3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2019年度	2020年度	2021年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	1,769,365	464,584	6,991,000
		一般財源	円	24,676,829	10,075,676	3,536,000
		事業費計(A)	円	26,446,194	10,540,260	10,527,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.5947	0.5947	
人件費計(B)		円	4,768,572	4,768,572		
トータルコスト(A+B)		円	31,214,766	15,308,832		
活動指標						

(4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
寄附金管理基金繰入金	円	50,000	450,000	6,990,000
図書館資料紛失弁償金	円	30,422	14,584	1,000
臨職労働保険料個人負担金(図書館費)	円	1,688,943		
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

- 1 図書購入費 7,195,920円  
 (1) 一般書 2,612冊(2,950冊)  
 (2) 児童書 1,540冊(1,461冊)  
 計 4,152冊(4,411冊)
- 2 視聴覚資料購入費 1,412,944円  
 (1) CD,DVD 141点(180点)
- 3 図書資料費 989,659円  
 (1) 雑誌 67誌 815冊(815冊)  
 (2) 新聞 8紙
- 4 利用登録者数 14,830人(14,548人) ※ 団体登録、相互貸借図書館を含む。

## 5 図書館貸出利用者数内訳

区分	図書館資料の利用者数							団体	小計	事業	合計
	幼児	小学生	中学生	一般							
	0~5	6~12	13~15	16~22	23~39	40~59	60~				
R2	1,337	2,330	555	839	4,456	8,674	10,635	430	29,256	2,764	32,020
R1	1,232	2,919	1,017	910	5,762	10,664	11,689	414	34,607	9,794	44,401

## 6 図書・雑誌資料別貸出状況

区分	貸出冊数	
	令和2年度	令和元年度
一般書	68,871	82,825
児童書	53,584	59,058
雑誌	10,974	11,863
合計	133,429	153,746

## 7 視聴覚資料貸出・館内視聴状況

区分	令和2年度	令和2年度 館外(再掲)	令和元年度	令和元年度 館外(再掲)
カセット	2	2	2	2
CD	1,678	1,632	1,794	1,664
ビデオ	236	80	435	65
LD	151		286	
DVD	3,815	3,464	5,048	4,324
合計	5,882	5,178	8,239	6,861

## 8 蔵書点検の実施

- (1) 実施期間 令和2年4月22日～5月2日  
 (2) 点検資料数 122,319点  
 (3) 不明資料数 25点

## 9 未返却などの督促

- (1) 対象者数 116人  
 (2) 対象冊数 441冊

## 10 本の宅配(外出自粛期間限定事業)

- (1) 実施期間 令和2年4月29日～5月25日  
 (2) 利用者数 122人  
 (3) 貸出冊数 993冊

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	4	集団研修施設費	220108	集団研修施設「かっこう」維持管理事業

事務事業名 集団研修施設「かっこう」維持管理事業

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

施設の維持管理、小破損修繕、利用団体の管理(宿泊時含む)、敷地内の環境整備

## 2. 対象(何を対象にしているか)

町内外の学校やサークル等の団体

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

社会教育活動の場を提供

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

廃校となった美生小学校校舎を再利用し、青少年の活動拠点として整備された施設であり、本館が昭和55年建築、体育館が昭和41年建築と施設の老朽化が進んでいる。体育館の床面については、特に劣化が進んでいる。  
2022年度以降の社会教育施設としての在り方について地域と協議中。令和3年度は計画的に宿泊期間を4月下旬から11月中旬までに短縮している。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

令和4年4月からの施設の在り方について政策推進課との調整、地域への説明、及び施設を定期的に使用している団体への説明を行う。  
大乃国資料館の設置場所について協議する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	534,850	177,550	523,000
		一般財源	円	5,807,999	7,498,593	5,716,000
		事業費計(A)	円	6,342,849	7,676,143	6,239,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.1725	0.2089	
人件費計(B)		円	1,383,182	1,658,127		
		トータルコスト(A+B)	円	7,726,031	9,334,270	
活動指標	開館日数		日	306	227	255

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
集団研修施設使用料	円	534,850	177,550	522,000
私用電話料(集団研修施設費)	円			1,000
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 1. 施設利用状況について

## ①過去3ヵ年利用状況

	施設延べ利用者数			町内団体 利用率	BBQハウス利 用者数
	町内	町外	全体		
H30	1,063	1,757	2,820	37.7%	676
R1	1,619	1,671	3,290	49.2%	1,125
R2	630	799	1,429	44.1%	166

## ②年代別施設利用者数(町内)

	延べ利用者数					全体
	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	
H30	50	224	33	2	754	1,063
R1	25	469	257	65	803	1,619
R2	36	53	42		499	630

※BBQハウス利用者を除く

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	4	社会教育費	5	ふるさと歴史館	220111	ふるさと歴史館運営事業

事務事業名 ふるさと歴史館運営事業

### (1) 事務事業の目的と効果

#### 1. 手段(事業の概要)

体験指導員1名の報酬、各種事業の開催(月別体験学習、歴史館講座、ねんりんフェスティバル、団体体験学習の受入及び指導)、収蔵資料の現状調査、各種事業の周知並びに送迎バスの運行(年1回)、帯広百年記念館運営連絡協議会への参加

#### 2. 対象(何を対象にしているか)

施設来館者(町内・町外在住者)、各種主催事業参加者

#### 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

郷土学習・体験学習の場を提供し、郷土の歴史について理解を深める機会を提供する

### (2) 事務事業の現状と今後の取組

#### 1. 事務事業の現状と課題

体験型資料館としての特色を活かし、来館者に対するものづくり体験の場を提供することで、郷土の歴史や文化に対する理解を深めてもらう事を目的としている。  
事業のマンネリ化が課題となっている。ものづくり体験については、どこでも出来るような工作ではなく、ふるさと歴史館らしさのあるメニューを用意できるよう工夫していく必要がある。  
なお、2020年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、例年実施している体験型イベント「ねんりんフェスティバル」を中止し、規模を縮小した特別工作教室を実施している。

#### 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

町の歴史・文化に興味を持ってもらえるような事業プログラムを検討・実施し、入館者の増加につなげていく。  
町の歴史・文化を後世まで伝承するという役割を果たすため、収蔵資料の保存・活用を図る。

### (3) 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2019年度	2020年度	2021年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	380,449	389,468	380,000
		一般財源	円	3,200,019	3,277,273	3,134,000
		事業費計(A)	円	3,580,468	3,666,741	3,514,000
	人件費	正職員従事人数	人	4	4	4
		人工数(業務量)	人工	0.0786	0.1544	
人件費計(B)		円	630,250	1,225,538		
トータルコスト(A+B)		円	4,210,718	4,892,279		
活動指標	各種事業実施回数	回	14	11	14	

### (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
臨職労働保険個人負担金(ふるさと歴史館費)	円	380,449		
会計年度任用職員労働保険個人負担金(ふるさと歴史館費)	円		389,468	380,000
	円			
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## ①施設利用状況

	入館者数			団体体験学習	
	町内	町外	全体	団体数	利用者数
H28	2,144	1,929	4,073	49	1,019
H29	2,119	2,112	4,331	50	1,078
H30	1,795	2,542	4,337	54	1,085
R1	1,639	1,940	3,579	47	844
R2	810	886	1,696	28	434

※団体体験学習(R2)は、10種類の工作メニューから選択

(ミニブック、アニマルうちわ、マカロンのキーホルダー、木枝のかけらのキーホルダー、フォトフレーム  
牛乳パックのロケットとばしゲーム、ペットボトルのけん玉、お菓子のキャンドル、竹とんぼ／紙とんぼ、スライム)

## ②主催事業

・ねんりんフェスティバル 開催中止

・春の特別工作教室

令和3年3月13日(土)10:00～11:30 ランプシェード作り 10人口  
 令和3年3月13日(土)14:00～15:30 ランプシェード作り 2人  
 令和3年3月14日(日)10:00～11:30 エコバッグ作り 4人  
 令和3年3月14日(日)14:00～15:30 エコバッグ作り 4人

・月替わり体験学習 ※毎月第2・4土・日曜日実施

年間利用者数 120人  
 4月／開催中止 0人  
 5月／開催中止 0人  
 6月／紙コップのけん玉 4人  
 7月／アニマル小物入れ 8人  
 8月／星のかべかけ 11人  
 9月／ぐにやぐにやだこ 12人  
 10月／ハロウインのミニハット 40人  
 11月／クリスマスオーナメント 26人  
 12月／カードスタンド 4人  
 1月／羽子板 4人  
 2月／お菓子なマグネット 8人  
 3月／ビーズ入れゲーム 3人

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名	
9	教育費	5 保健体育費	1 保健体育総務費	220433	スポーツ人材強化・育成事業

事務事業名	スポーツ人材強化・育成事業
-------	---------------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 町内で活動する各種スポーツ団体(少年団、各種競技団体)の構成員並びに指導者に対する適正な指導や研修会等への参加機会を設け、スポーツ活動に関わる人材の育成と町民が参加可能なスポーツ活動の充実を図る。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民及び各種スポーツ活動団体の構成員
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) スポーツ活動に携わる人材(競技者、指導者)の育成とそれに係る支援を行い、町のスポーツ活動の充実を図る。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 ・北海道十勝スカイアースや北海道日本ハムファイターズなど道内で活動する競技団体との連携関係を結び、それぞれが有する特色を生かしたスポーツや健康、観光などをテーマとする事業を実施する。 ・地域おこし協力隊による活動を通し、少年団や中学校部活動における指導者不足等の課題を抽出し、支援に向けた方策の検討、研修会の開催等を行う。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 町長公約である「一流を見て、聞いて、学ぶ」実現のためのソフト事業を展開する。各種スポーツに親しむ機会、技術や心構えの習得機会、指導者のための研修会などスポーツしやすい環境を継続していくため、今後も事業を推進していく。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	1,000,000		
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	1,878,788	485,831	231,000
		一般財源	円	4,602,201	4,830,315	4,452,000
		事業費計(A)	円	7,480,989	5,316,146	4,683,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.0957	0.1011	
人件費計(B)		円	767,366	802,473		
		トータルコスト(A+B)	円	8,248,355	6,118,619	
活動指標	研修会、各種教室の実施回数		回	7	5	7
	研修会、各種教室への延べ参加者数		人	699	841	1,000

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
臨職労働保険個人負担金(保健体育総務費)	円	350,788		
スポーツ人材強化・育成事業個人負担金	円			30,000
寄附金管理基金繰入金	円	708,000	100,000	
会計年度任用職員労働保険個人負担金(保健体育総務費)	円		385,831	201,000
スポーツ人材強化・育成事業道補助金	円	1,000,000		
いきいきふるさと推進事業助成金(保健体育総務費)	円	820,000		
	円			



## 事務事業の成果に関する説明

## 1 プロスポーツ競技団体等との連携構築

・北海道日本ハムファイターズと芽室町による3年間のパートナー協定を令和元年5月27日に締結

## 2 北海道十勝スカイアーススポーツとの連携事業の実施状況(平成30年8月23日包括的連携協定締結)

## 1) チャレンジデー2020 スポーツ能力測定の実施(令和2年5月27日)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から一斉実施の中止。

## 2) 芽室町サンクスマッチの開催(令和2年8月23日)

北海道リーグのホームゲームを芽室町サンクスマッチとし、試合のボールボーイをサッカー少年団が実施。

試合開始前に町長にスカイアースからユニフォームの贈呈があり、審判へボールを渡すキックオフセレモニーを実施し、試合終了後に教育長からMVP賞(マチルダ1年分)が贈られた。

・ボールボーイ 芽室サッカー少年団17名

## 3) 夢講話(令和2年11月10日芽室西中学校、令和3年1月22日芽室中学校)

芽室西中学校全校生徒(162名)、芽室中学校2年生(143名)を対象に北海道十勝スカイアース長野監督からプロサッカー選手として経験したこと、これまでの人生で学んだことや、将来の夢を叶えるためにどうしてきたか等の講話をした。

## 4) サッカークリニックinめむろ(令和3年2月28日)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止。

## 3 北海道日本ハムファイターズとの連携事業の実施状況

## 1) スポーツキャラバンinめむろ(令和2年6月19日～21日)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止。

## 2) 北海道日本ハムファイターズ野球教室inめむろ(令和2年12月9日)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止。

## 4 地域おこし協力隊(スポーツ振興・町民の健康づくり)1名の任用

任 期 平成30年10月1日から最長3年間

業務内容 町内スポーツ競技団体の指導者発掘やスポーツ活動への指導助言、町民の健康づくりに関する取組みなど、スポーツを通じた魅力あるまちづくり実現に向けた活動を担う。

## 5 地域おこし協力隊の活動

## 1) スポーツ少年団、子どもセンター等の指導協力

少年団や子どもセンター等が実施するサッカー教室の講師としての派遣協力 41回派遣。

## 2) スポーツ競技団体との連絡・協議

スポーツ関連事業の企画・実施に向けた北海道十勝スカイアース株式会社等との協議。

業務内容 町内スポーツ競技団体の指導者発掘やスポーツ活動への指導助言、町民の健康づくりに関する取組みなど、スポーツを通じた魅力あるまちづくり実現に向けた活動を担う。

## 3) 地域総合型スポーツクラブの調査・研究

業務内容 芽室町スポーツ少年団との意見交換、近隣クラブの調査等、関係機関と連携し芽室町にあったモデルを研究。

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	5	保健体育費	2	体育施設費	220424	屋外体育施設維持管理事業

事務事業名	屋外体育施設維持管理事業
-------	--------------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 芽室公園野球場、芽室公園運動広場(ソフトボール場1面特設)、芽室町南多目的運動広場、アーチェリー場、芽室南公園運動広場、芽室公園庭球場(6面うち1面は壁打ち用)、芽室南公園庭球場(ハード3面、クレイ3面)、東工業団地北1公園PG場、芽室南PG場、芽室町サッカー場1面、芽室西運動広場の維持管理を行う。
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 町民及び各種スポーツ団体のメンバー等がスポーツ活動を実践することができる。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 町民の運動志向の高まりとともに、取り組むスポーツも多様化し、より快適で安全な体育施設の設置、維持管理、整備が望まれている。平成30年度には芽室公園野球場の大規模改修工事と平成28年度の台風被害を受けた美生川河川敷PG場の災害復旧工事を行うなど施設整備事業を実施。現在は温水プール建替に伴い、事業者と調査及び設計内容について協議を進めている。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 芽室町営水泳プール建替基本計画と運動し、周辺施設を含む屋外体育施設全体の整備に向けて、施設の現状把握と分析、競技団体との意見交換、財源確保に向けた調査、跡地利用の検討(駐車場、庭球場、運動広場の整備)の方向性を検討する。温水プール建替に伴い、今後は令和4年から整備工事及び外構工事、令和5年から既存プールの解体工事を進める。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	551,700	886,465	1,077,000
		一般財源	円	56,325,866	38,619,944	43,111,000
		事業費計(A)	円	56,877,566	39,506,409	44,188,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.2340	0.2085	
人件費計(B)		円	1,876,317	1,654,952		
		トータルコスト(A+B)	円	58,753,883	41,161,361	
活動指標	施設数		施設数	11	11	11
	会場日数		日	198	183	190

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
野球場使用料	円	198,860	116,115	209,000
運動広場使用料	円	188,600	156,900	218,000
庭球場使用料	円	126,900	112,150	138,000
アーチェリー場使用料	円	26,340	300	31,000
サッカー場使用料	円	11,000	1,000	14,000
日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金(体育施設費)	円			
寄附金管理基金繰入金	円		500,000	467,000

## 事務事業の成果に関する説明

## 屋外体育施設の利用状況

## 1. 芽室公園運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R2計	R1	H30
町営野球場		10	310	975	1,082	197	345		2,919	4,481	5,971
芽室公園運動広場		30	880	1,275	958	1,036	1,084		5,263	7,718	10,681
芽室公園庭球場		29	165	249	269	104	107	40	963	1,285	2,217

## 2. 南公園運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R2計	R1	H30
南公園運動広場			114	194	329	177			814	1,840	1,966
南公園庭球場		77	383	483	762	484	175	47	2,411	4,343	3,878

## 3. 南多目的運動施設

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R2計	R1	H30
アーチェリー場			81	66	59	37	54		297	1,506	736
ソフトボール場		70	200	265	155	135	80		905	1,088	1,321

## 4. サッカー場

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R2計	R1	H30
小学生以下			949	880	924	1,079			3,832	3,102	2,812
中学生			120	120	180	300			720	1,443	2,080
高校生・一般			111	86	109	141			447	870	783
計			1,180	1,086	1,213	1,520			4,999	5,415	5,675

## 5. パークゴルフ場(団体利用の申込み状況)

施設名	R2		R1		H30	
	団体数	利用人数	団体数	利用人数	団体数	利用人数
美生川河川敷(H29休止)	4	225	—	—	—	—
東工業団地北一公園	4	91	11	396	4	207
南	3	331	14	2,352	6	2,163
北	1	40	8	736	4	636
計	12	687	33	3,484	14	3,006

## 6. 西運動広場(平成29年度より開設)

[単位:人]

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	R2計	R1
西運動広場			468	352	514	176	176		1,686	1,949

## 屋外体育施設の維持(修繕)の状況

## 【修繕】

①芽室町営野球場仕切弁取替修繕 462,000円

## 【備品購入】

①南パークゴルフ場簡易水洗トイレ(様式/新棟)1棟 319,000円

建設事業等の説明 (単位:円)						
事業(工事)名 及び事業内容	事業費	財源内訳				備考
		国道支出金	起債	その他	一般財源	
町営サッカー場作業道取付工事	605,000				605,000	村上建設株 R2.4.23~R2.5.29
合計	605,000				605,000	

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名			
9	教育費	5	保健体育費	3	総合体育館管理費	220406	総合体育館維持管理事業

事務事業名	総合体育館維持管理事業
-------	-------------

## (1) 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 総合体育館(第1・2競技場、トレーニング室、研修室等)の維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) 町民、スポーツ競技団体等
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 経年劣化の改善や耐震性向上のため平成24年度に改修工事を実施し、以降、計画的に施設備品や施設の整備を実施。施設災害発生時の町の避難施設に指定されていることから平成26年度にバイオマス発電設備を設置し災害時の利用に備え、日常的に運転を継続している。 また、温水プール建替に伴って、現施設の機能移転も含めた各室の利用形態の見直しも必要である。
2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策) 社会体育施設指定管理者と情報共有を図り、今後も計画的な施設整備、備品整備を行っていく。また、隣接する温水プール建替に伴い、温水プールと総合体育館の連絡方法も考慮し、各室の利用形態を見直しする。 また、利用者の動線、既存の温水プール施設跡地利用を検討する中で、周辺の屋外体育施設の整備と連動した総合体育館周辺の将来的な土地利用の方向性を検討する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	5,351,031	3,999,878	5,251,000
		一般財源	円	48,151,236	55,294,213	54,222,000
		事業費計(A)	円	53,502,267	59,294,091	59,473,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.1629	0.1574	
人件費計(B)		円	1,306,205	1,249,350		
		トータルコスト(A+B)	円	54,808,472	60,543,441	
活動指標	施設数	施設		1	1	1
	開館日数	日		350	351	350

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
総合体育館使用料	円	5,180,510	3,828,863	5,089,000
総合体育館自動販売機等使用料	円	167,551	134,915	159,000
寄附金管理基金繰入金	円		35,000	
私用電話料(総合体育館管理費)	円	2,970	1,100	3,000
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 芽室町総合体育館の利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30	個人	1,961	1,539	1,557	1,808	1,811	1,570	1,704	1,803	1,905	2,036	1,934	2,098	21,726
	団体	6,679	5,890	6,627	5,907	4,002	4,825	6,835	5,669	5,844	5,087	5,634	4,598	67,597
	計	8,640	7,429	8,184	7,715	5,813	6,395	8,539	7,472	7,749	7,123	7,568	6,696	89,323
R1	個人	2,294	1,861	1,922	1,977	1,823	1,670	1,870	2,085	2,217	2,439	2,275	2,830	25,263
	団体	6,358	6,235	5,450	5,211	4,984	5,245	6,146	5,662	5,111	4,183	4,065	1,213	59,863
	計	8,652	8,096	7,372	7,188	6,807	6,915	8,016	7,747	7,328	6,622	6,340	4,043	85,126
R2	個人	1,147	260	2,004	1,697	1,719	1,547	1,841	1,818	1,938	1,583	2,138	2,177	19,869
	団体	1,793	141	3,525	4,327	3,875	4,419	7,162	3,831	3,614	3,404	4,086	4,097	44,274
	計	2,940	401	5,529	6,024	5,594	5,966	9,003	5,649	5,552	4,987	6,224	6,274	64,143

## 芽室町総合体育館の競技別利用状況

競技名	H30	R1	R2
バドミントン	23,699	23,183	18,599
卓球	5,555	5,360	4,626
テニス	4,082	3,065	3,393
バレーボール	8,481	8,779	5,611
ミニバレー	5,908	5,130	6,228
バスケットボール	1,527	1,751	1,343
剣道	2,214	2,060	1,556
柔道	2,178	2,085	1,065
空手	3,719	3,045	2,920
テニポン	4,157	3,384	2,782
トレーニング	14,712	15,726	9,543
研修室	640	671	286
その他	12,451	10,887	6,191
計	89,323	85,126	64,143

## 芽室町総合体育館教室等の開催(指定管理業務)

講座名	教室数	受講者数	延べ人数
レディース(健康)	2	60	236
にこにこ	4	148	530
シニアスポーツ	2	62	246
サーキットエクササイズ	1	8	34
らくらく運動教室	5	216	733
スタイリッシュ教室	2	13	47
健康づくり	2	37	154
バランスボールエクササイズ	2	39	186
基礎筋力UP	1	12	35
エアロピクス	1	32	91
シニアるるん	1	31	53
ヨガ	3	99	269
ピラティス	2	64	133
ミドルエイジ	1	10	22
ダンベル	1	9	32
町民体力測定	1	1	1
計	31	841	2,802

## 芽室町総合体育館の維持(修繕・備品購入)の状況

## 【修繕】

- ① バイオマス発電設備コージェネレーションシステム燃焼内燃筒交換修繕 685,300円
- ② 芽室町総合体育館避難口誘導灯器具等修繕 184,360円
- ③ 芽室町総合体育館男子更衣室パネルヒーター取替修繕 440,000円

## 【備品購入】

- ① 芽室町総合体育館 バドミントン用ネット4枚 46,000円

款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	5 保健体育費	4 プール管理費	220409 温水プール維持管理事業

事務事業名	温水プール維持管理事業
-------	-------------

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

温水プールの維持管理を行う。

## 2. 対象(何を対象にしているか)

町民、スポーツ団体

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

競技スポーツだけではなく、体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる。

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

開館から29年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、平成26年度に施設の改修計画に向けた設計委託業務を実施し、平成27年度に町民からなる検討会議での議論を踏まえ教育委員会としての施設改修に関する基本方針をまとめた。平成30年度にはこの基本方針を踏まえ、町として施設建替基本構想を策定した。現在は温水プール建替に伴い、事業者と調査及び設計内容について協議を進めている。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

平成30年度に策定した「町営水泳プール建替基本構想」に基づき、施設の整備方針、規模や建設位置、事業費やそれに伴う財源、事業手法等をまとめた基本方針を策定し、基本構想で方向性を示したDBO方式による施設建替を見据えた要求水準書、募集要項等を作成し、プロポーザル審査委員会を設置し、業者選定を行った。2021年度は建替えに係る基本・実施設計委託を実施する。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			38,060,000
		地方債	円			34,200,000
		その他(使用料等)	円	3,761,354	2,574,364	3,824,000
		一般財源	円	49,168,467	50,474,212	57,762,000
		事業費計(A)	円	52,929,821	53,048,576	133,846,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.1170	0.1063	
人件費計(B)		円	938,159	843,748		
		トータルコスト(A+B)	円	53,867,980	53,892,324	
活動指標	施設数		施設	1	1	1
	開館日数		日	283	285	284

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
プール使用料	円	3,612,070	2,413,170	3,682,000
プール自動販売機等使用料	円	147,944	160,874	141,000
私用電話料(プール管理費)	円	1,340	320	1,000
都市構造再編集中支援事業国庫補助金(プール管理費)	円			38,060,000
温水プール建替基本構想(プール管理費)	円			34,200,000
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 芽室町温水プールの利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30	個人	2,076	2,175	2,599	2,924	2,771	1,599	1,938	1,812	1,701	1,610	1,880	-	23,085
	団体	1,271	1,698	4,522	3,808	2,973	1,676	2,084	1,691	1,136	1,777	1,314	-	23,950
	計	3,347	3,873	7,121	6,732	5,744	3,275	4,022	3,503	2,837	3,387	3,194		47,035
R1	個人	1,797	2,157	2,252	2,540	2,936	1,942	1,766	1,550	1,618	1,481	1,651	-	21,690
	団体	1,219	1,475	3,785	4,045	2,564	3,030	1,382	1,357	1,281	1,796	1,104	-	23,038
	計	3,016	3,632	6,037	6,585	5,500	4,972	3,148	2,907	2,899	3,277	2,755		44,728
R2	個人	720	339	1,380	1,743	2,102	1,371	1,429	1,296	1,604	1,160	1,460	-	14,604
	団体	199		736	1,416	1,210	1,204	1,535	1,042	1,222	1,090	977	-	10,631
	計	919	339	2,116	3,159	3,312	2,575	2,964	2,338	2,826	2,250	2,437		25,235

## 水泳教室等(指定管理業務)の開催状況

対象	実施状況	延べ参加者数
こども	4コース/延べ32教室	2,540人
親子	0コース/延べ0教室	0人
大人(スイミング)	9コース/延べ36教室	1,280人
大人(水中運動)	3コース/延べ12教室	708人
計		4,528人

R1 7,486人

## 芽室町温水プールの維持(修繕)の状況

## 【修繕】

①芽室町温水プールミキシングバルブ修繕	330,000円
②芽室町温水プール暖房配管漏水修繕	253,000円
③芽室町温水プール吊天井修繕	401,500円
④芽室町温水プール消防設備修繕	176,000円



款	項	目	事業番号	決算書上の事業名
9	教育費	5 保健体育費	5 健康プラザ管理費	220416 健康プラザ維持管理事業

事務事業名	健康プラザ維持管理事業
-------	-------------

## (1) 事務事業の目的と効果

## 1. 手段(事業の概要)

健康プラザ(アリーナ、研修室、資料室等)の維持管理を行う

## 2. 対象(何を対象にしているか)

町民、スポーツ団体等

## 3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)

競技スポーツだけでなく体力向上や健康増進のためのスポーツ実践の場を提供し、町民皆スポーツにつなげる

## (2) 事務事業の現状と今後の取組

## 1. 事務事業の現状と課題

ゲートボールを中心に通年で様々な競技に利用されている。特に冬期間はゲートボールやテニス、フットサルだけではなく野球など屋外競技の冬期間の練習場としての利用実績を持つ。また、平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備したアリーナ人工芝の維持管理や長寿命化に努めるとともに、懸案事項となっている天井部分からの菅漏への有効な対策を検討する必要がある。人工芝のメンテナンスは保護用砂の散布を行い、ブラッシング作業で整地し維持管理を行うことで利用者の安全確保に努める。

## 2. 今後の取組(今後の方向性・課題の解決策)

平成28年度に日本スポーツ振興センターの助成制度を活用して整備したアリーナ人工芝の長寿命化を図るため、保護用砂の散布を実施するとともに、天井部分からの菅漏への有効な対策を検討し、施設全体の長寿命化に向けた課題の解決を図る。人工芝のメンテナンスは令和元年度から1年おきに実施する方向で進める。

## (3) 総事業費・指標等の推移

		内訳	単位	2019年度	2020年度	2021年度
投入量	事業費	国・道支出金	円			
		地方債	円			
		その他(使用料等)	円	1,449,433	1,112,248	1,388,000
		一般財源	円	10,626,843	11,161,299	11,177,000
		事業費計(A)	円	12,076,276	12,273,547	12,565,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	3
		人工数(業務量)	人工	0.1156	0.1123	
人件費計(B)		円	926,933	891,372		
		トータルコスト(A+B)	円	13,003,209	13,164,919	
活動指標	施設数		施設	1	1	1
	開館日数		日	361	334	361

## (4) 歳入に関する説明【特定財源の内訳】

細節名	単位	2019年度	2020年度	2021年度
健康プラザ使用料	円	1,319,398	983,115	1,263,000
健康プラザ自動販売機等使用料	円	126,075	126,243	121,000
私用電話料(健康プラザ管理費)	円	3,960	2,890	4,000
	円			
	円			
	円			

## 事務事業の成果に関する説明

## 芽室町健康プラザの利用状況

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30	個人	377	748	92	174	172	180	665	402	349	463	281	391	4,294
	団体	2,783	1,313	1,352	1,238	1,840	1,337	2,469	3,176	4,160	3,260	4,959	3,355	31,242
	計	3,160	2,061	1,444	1,412	2,012	1,517	3,134	3,578	4,509	3,723	5,240	3,746	35,536
R1	個人	405	537	165	327	193	273	646	473	500	393	426	1,012	5,350
	団体	2,883	1,346	1,188	1,387	1,644	1,809	2,158	4,045	4,834	3,691	4,382	1,055	30,422
	計	3,288	1,883	1,353	1,714	1,837	2,082	2,804	4,518	5,334	4,084	4,808	2,067	35,772
R2	個人	488	9	152	198	160	349	452	469	580	405	634	687	4,583
	団体	1,271	23	760	617	656	1,062	1,846	3,048	2,708	2,749	3,280	3,044	21,064
	計	1,759	32	912	815	816	1,411	2,298	3,517	3,288	3,154	3,914	3,731	25,647

## 芽室町健康プラザの競技別利用状況

競技名	H30	R1	R2
ゲートボール	13,780	12,485	7,900
サッカー	11,428	12,653	8,218
野球	3,894	4,464	4,566
ソフトボール	476	447	314
テニス	3,227	2,951	2,516
アーチェリー	846	759	755
パークゴルフ	864	1,110	759
その他	1,021	903	619
計	35,536	35,772	25,647

## 芽室町健康プラザの維持(修繕)の状況

## 【修繕】

- ①健康プラザ芝メンテナンス修繕 82,500円
- ②ワイヤレスマイク修繕 62,700円